



ピンク色のKマネー
の有効期限は 9月
30日(水)です

忘れずにご利用ください。



問合先 地域振興課

お詫びと訂正

広報かに8月15日号11ページ「合同企業説明会」のうち、対象者に誤りがありました。お詫びして訂正します。

正 大学・短大・高専・専修学校の来春卒業予定者
誤 高校・大学・短大・高専・専修学校の来春卒業予定者

図書館だより

図書館本館（広見） ☎02 5120
帷子分館 ☎06 8530
桜ヶ丘分館 ☎04 3473

開館時間 本館 火～金 午前10時～午後7時
土日祝 午前10時～午後5時
帷子・桜ヶ丘分館 午前9時～午後5時

休館日 本館・分館共通
毎週月曜日、25日（金）

■特別休館のお知らせ

10月1日（木）～14日（水）は、蔵書点検と図書館システム改修のため、本館・分館すべて休館します。

■展示のご案内（本館）

「認知症の方が住み慣れた地域で暮らしていくために」展（高齢福祉課）
期間 9月24日（木）まで
認知症があっても安心して暮らせる社会を目指し、毎年9月21日を中心にアルツハイマー病の啓蒙を全国的に実施しています。この機会に認知症について学んでみませんか。
「命を守る図書展～3万分の1の命と向き合う～」(福祉課)
日本では自殺によって多くの尊い命が失われています。自殺の多くは防ぐことができる社会的な問題です。自殺予防、うつ病、命の大切さに関するパネルや図書

を展示します。

■かにっ子タイム

毎週土曜日午後2時から行います。
○ふくべっこの人形劇
期日 9月19日（土）
場所 図書館本館3階
演目 「ジャックと豆の木」
上演 ふくべっこ
楽しい人形劇です。ぜひお越しください。

■第1回読書会を開催

9月11日（金）までに図書館本館に申し込んでください。
日時 9月15日（火） 午後1時30分～
場所 図書館本館3階
題材 「若冲」澤田瞳子著（文藝春秋）
主催 可児市読書サークル協議会

■新しく入った本

一 「100万分の1回のおねこ」 江國香織ほか / 著（講談社）
一般書 「自閉症の僕の七転び八起き」 東田直樹 / 著（KADOKAWA）
二 「ここがすき」 きたやまようこ / 作（こぐま社）
児童書 「小学生でもわかる スマホ&パソコンそもそも事典」 秋田勘助 / 著（シーアンドアール研究所）

広報番組のお知らせ

ケーブルテレビ可児で

いきいきマイタウン

9/5（土）～11（金）

ようこそ！市長室へ

9/12（土）～18（金）

認知症でも1人じゃない

9/19（土）～25（金）

簡単！山ごはんレシピ

Kルートで行こう！

9/26（土）～10/2（金）

好きなのはカニダー

放送時刻 月～金曜日 7:00・12:00・17:00・19:00・21:00
土・日曜日 7:00・12:00・19:00・21:00

FMららで

可児市役所からこんにちは

9/3（木） 11:20～

ようこそ！市長室へ

9/10（木） 11:20～

可児市ふるさと広報大使 塚本明里の「あかりい話」

9/17（木） 11:20～

ふるさと応援寄附金

9/24（木） 11:20～

可児市ふるさと広報大使 塚本明里の「あかりい話」

おはよう可児市役所

月～金曜日 8:00～

発見！可児の魅力

毎週土曜日 10:00～

もう一度確認を！災害時の情報収集

すぐメールかに

あらかじめ登録した携帯電話などのメールアドレスに、災害や気象に関する情報を配信します。そのほか、暮らしに役立つ市政情報も配信しています。

登録方法はコチラ



「防災無線」電話で確認サービス

専用電話番号 ☎ 0574 02 1548

防災無線で放送された内容を放送後に電話で確認することができます。

※通話料金が必要です。
※防災無線放送後、24時間経過すると消去されます。

自身でできる自然災害への 大切な備え



3人の尊い生命を犠牲にしてしまった、平成22年の7・15豪雨災害から、5年が経ちました。

の被災者への対応は、すぐにはほとんど手が回らないという現実です。でも、豪雨災害はある程度予測でき、事前に避難などの対応が可

あ、の災害以降昨年度までに、可児川改修をはじめとする災害対策事業に、岐阜県と可児市合わせて40億円近い事業費を投入してきました。しかしながら、まだまだ災害対策には多くのお金と時間が必要です。自然の脅威の前には、もう大丈夫という対策は不可能といっても過言ではないでしょう。

もう一つ、7・15豪雨災害で学んだことは、一旦大災害が発生すると、多くの情報が氾濫し、必要な対応に追われ市役所や消防、建設業をはじめとする民間の応援隊の活動も、本当に限られてくることです。個々



能です。過去の経験や、洪水、土砂災害のハザードマップを確認し、ご自宅が浸水や土砂災害を被る可能性がある地域なのか知ることができます。「どのような状況になったら避難が必要か」「2階などへ避難すれば大丈夫なのか」「心配の少ない地域なのか」ご自身で把握しておいてください。避難が必要であれば、「お身体の不自由な方や、小さいお子さん、妊婦さんはどうするのか」「手助けが必要か」「夜間だったらどうするのか」。そんなことを考えていただくために、7・15豪雨災害以降毎年6月に水防訓練を実施しています。ぜひ年に1回は、家族みんなで避難経路や、別々の場所にいた場合の集合場所など確認し合ってください。避難時に支援の必要な方の頼りになるのは、自治会、自主防災組織、自衛消防隊、防災支援隊など地域の皆さんです。日頃からの近所付き合いは、いざというときのためにも、本当に大切なことです。

また、「すぐメールかに」に登録すれば、災害情報が配信されます。ケーブルテレビ可児やFMららでも緊急放送を行います。FMららは、無料専用アプリをダウンロードして、スマートフォンやタブレットで

聴くこともできます。遠隔地からも、可児市の情報が確認でき便利です。

一方、地震は事前予測ができません。大地震の時、被災者の救助で大きな力を発揮できるのが、やはり自治会などの組織です。このことは、阪神淡路大震災や東日本大震災でも明らかになりました。毎年9月第1日曜日には大地震を想定した防災訓練を行います。防災訓練やさまざまな地域行事に参加し、日頃からお互いが見える関係を築くことも、ご自身でできる、安心につながる大切な「備え」です。

可児市長 岡田 誠

